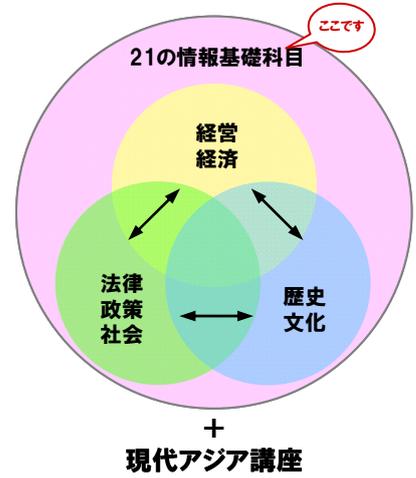


社会情報学科の基礎を支える

21の情報基礎科目

21の情報基礎科目を学んで、
社会情報学科の各コースや
ビジネスにアプローチ
資格取得にも直結



情報を核として
3つのコースと1つのオプション

■ 特徴

ビジネスや研究に必要な**情報に関する知識とスキル**を学びます。また、**調査を行ったり、データを解釈したりできる力**も養います。
情報の基礎をしっかりと身につけたい人や情報にかかわる仕事がしたい人はもちろん、どのコースの科目をとるにしても、**みなさんの基本となる科目群**です。同時に、これらを履修することで、学科が用意した**各種の資格を取る**ために役立てることができます。

■ 科目

社会情報基礎 <small>社会情報の基礎を学ぶ</small>	社会情報入門	情報数学		
情報の理論 <small>情報の基礎を学ぶ</small>	電子計算機	情報科学	情報システム	
マシンの操作 <small>操作スキルの向上を目指す</small>	情報リテラシー	応用情報リテラシー	プログラミング基礎	応用プログラミング
メディア <small>ネット時代に必須の知識と活用を学ぶ</small>	コミュニケーション	情報メディア	ネットワーク入門	
情報とビジネス <small>ビジネスに必要な力をつける</small>	システム管理	データベース	ビジネス実務演習	情報と職業
データ解析 <small>マーケティングなどで必要な統計を学ぶ</small>	データ解析基礎	データ解析システム	行動計量学	
社会調査 <small>世論調査、市場調査などの方法を学ぶ</small>	社会調査法	社会調査実習		

社会調査士 科目
実務士資格 (情報処理士・上級情報処理士・ビジネス実務士・社会調査アシスタント) 科目
教員免許 科目

■ 社会に役立つ資格

21の情報基礎科目の多くは、資格取得のための認定科目となっています。たとえば、社会調査士やビジネス実務士の場合、次のような科目を履修し、単位を取得すれば、その資格が得られます(下線の科目が情報基礎科目です)。

